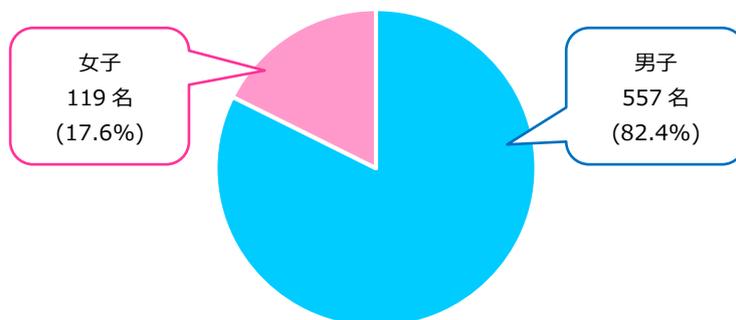


# 男女共同参画推進室 学生用アンケート結果

(アンケート実施日：平成 30 年 1 月)

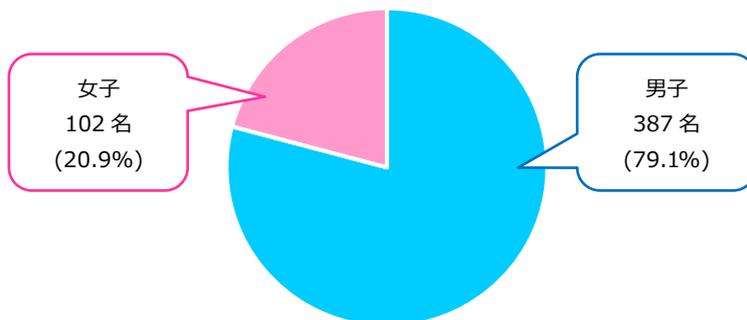
## □ 本校における学生の男女比（平成 29 年度）



## □ 回答者の性別の割合

	男子	女子	合計
全体	387名 (79.1%)	102名 (20.9%)	489名
(内訳)			
本科 1 年生	105名 (82.0%)	23名 (18.0%)	128名
本科 2 年生	75名 (78.9%)	20名 (21.1%)	95名
本科 3 年生	85名 (76.6%)	26名 (23.4%)	111名
本科 4 年生	50名 (67.6%)	24名 (32.4%)	74名
本科 5 年生	63名 (88.7%)	8名 (11.3%)	71名
専攻科 1 年生	9名 (90.0%)	1名 (10.0%)	10名

※商船学科 4 年生は航海訓練所にて実習中のため、アンケートは未実施。

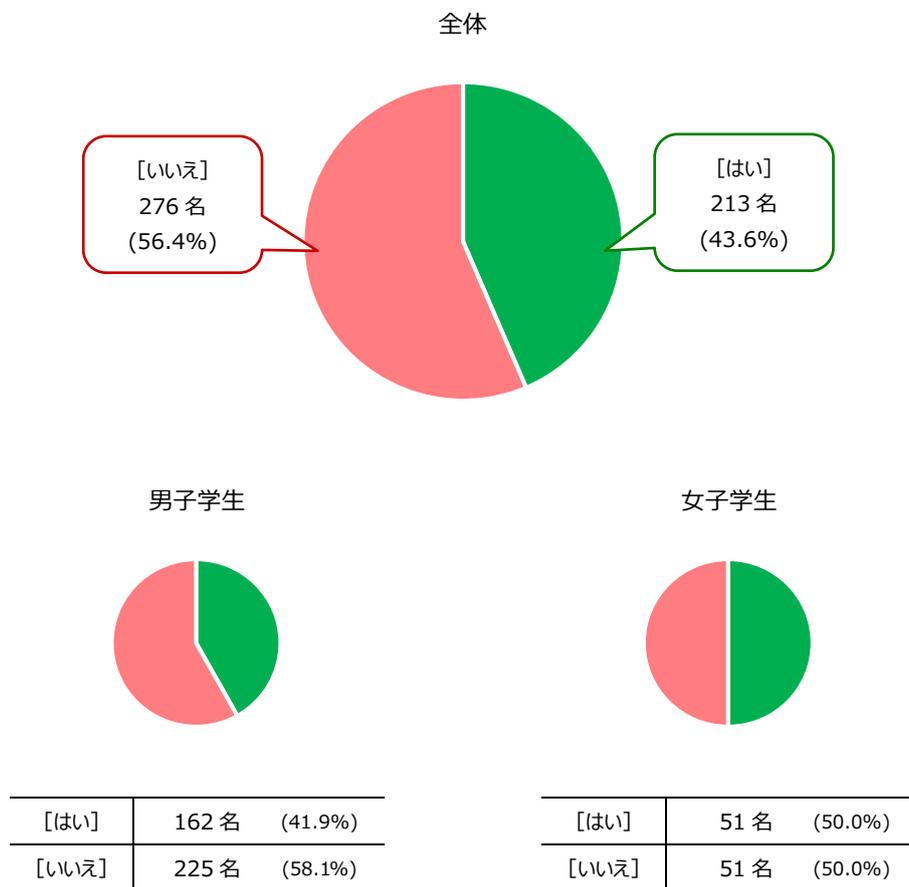


## □ アンケート結果

この結果では、「無回答」を除外しています。

※「無回答」と答えた人数は多くても3名（0.6%）です。

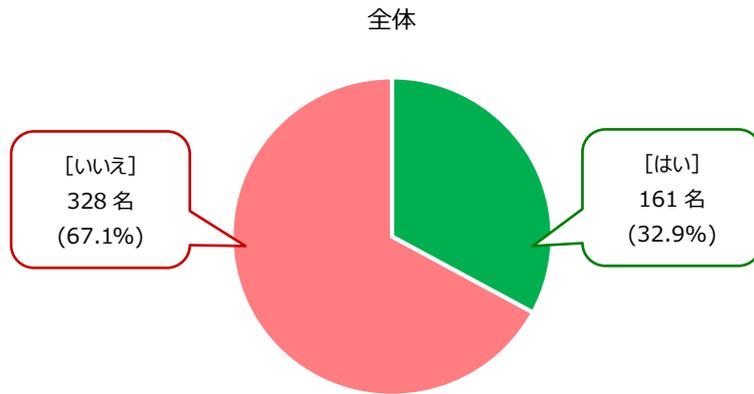
### 質問1) あなたは男女共同参画について、知っていますか。



#### <男女共同参画推進室としてのコメント>

- 全体的にまだ知られていないので、まずは「男女共同参画推進室」の存在をアピールしていきたいです。

質問2) 男女共同参画について、あなたは関心がありますか。

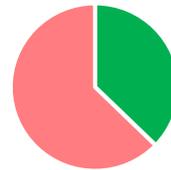


男子学生



はい	123名	(31.8%)
いいえ	264名	(68.2%)

女子学生

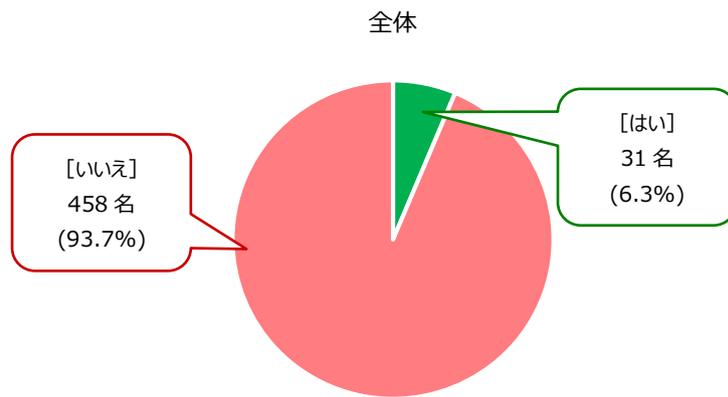


はい	38名	(37.3%)
いいえ	64名	(62.7%)

<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「いいえ」の回答が多かったです。
- 回答の割合に、男女に違いはあまりありませんでした。

質問3) 本学に男女共同参画推進室があるのを知っていますか。

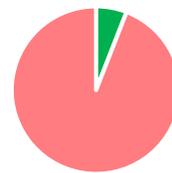


男子学生



[はい]	25名	(6.5%)
[いいえ]	362名	(93.5%)

女子学生

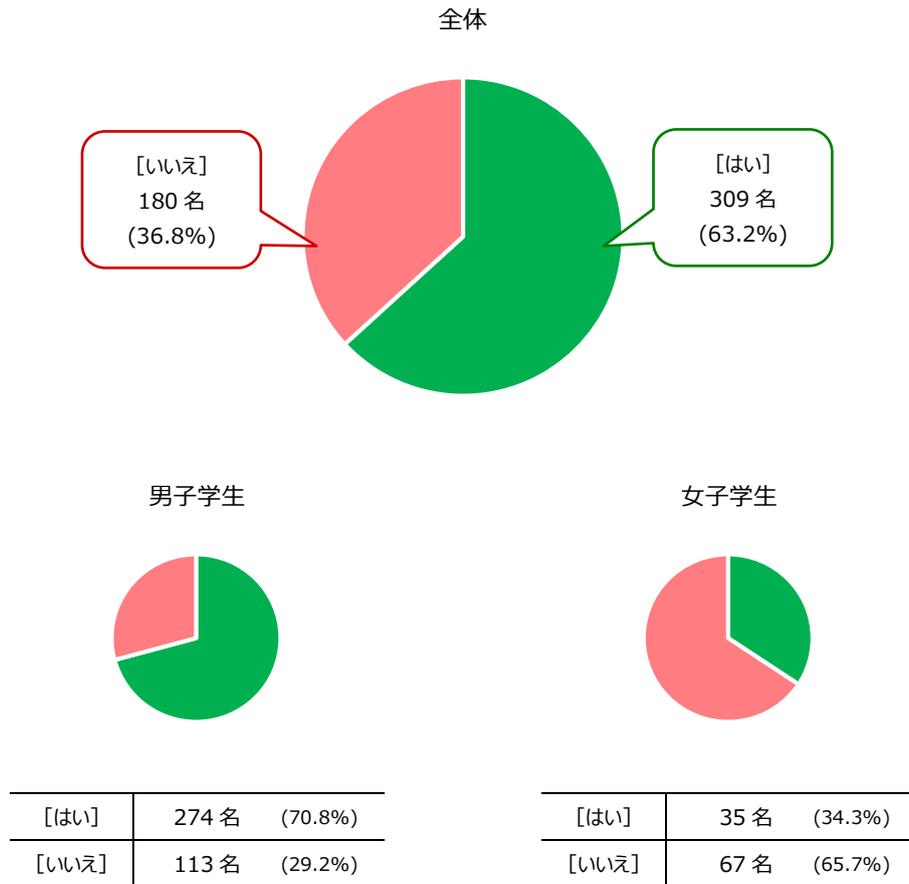


[はい]	6名	(5.9%)
[いいえ]	96名	(94.1%)

<男女共同参画推進室としてのコメント>

- [いいえ] の回答がほとんどでした。
- 回答の割合に、男女に違いはあまりありませんでした。

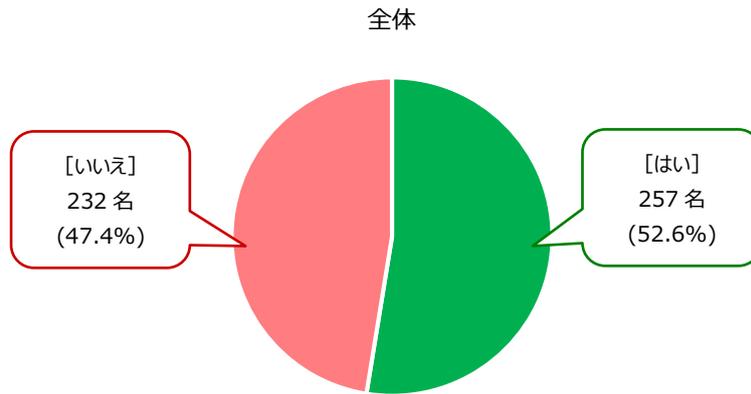
質問4) 所属する学科における女子学生の比率について低いと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 男女で考え方が大きく違う結果になりました。
- 男子学生は、もう少し女子学生が多くていいのでは？と考えているのかもしれない。
- 女子学生は、「理系」ということもあって、そういうものだろう、と現状を受け入れているのかもしれない。

質問5) 女子学生の割合を高めるべきだと思いますか。

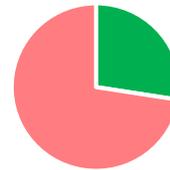


男子学生



はい	229名	(59.2%)
いいえ	158名	(40.8%)

女子学生

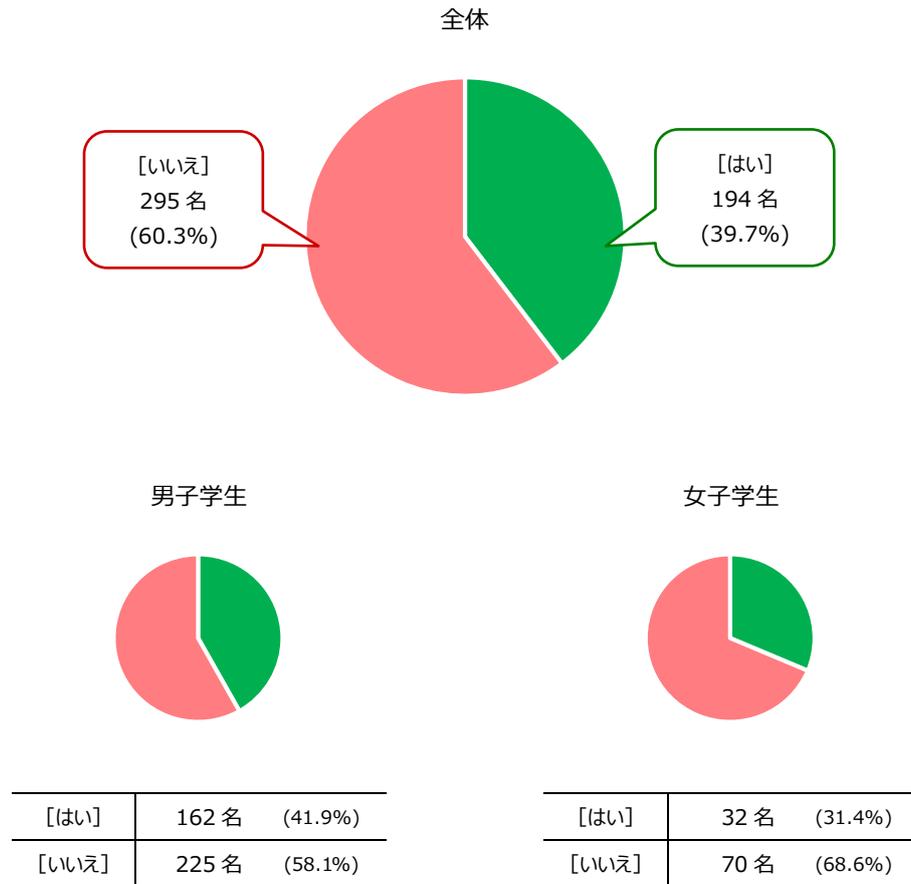


はい	28名	(27.5%)
いいえ	74名	(72.5%)

<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 質問 4 と同じで、男女で考え方が大きく違う結果になりました。

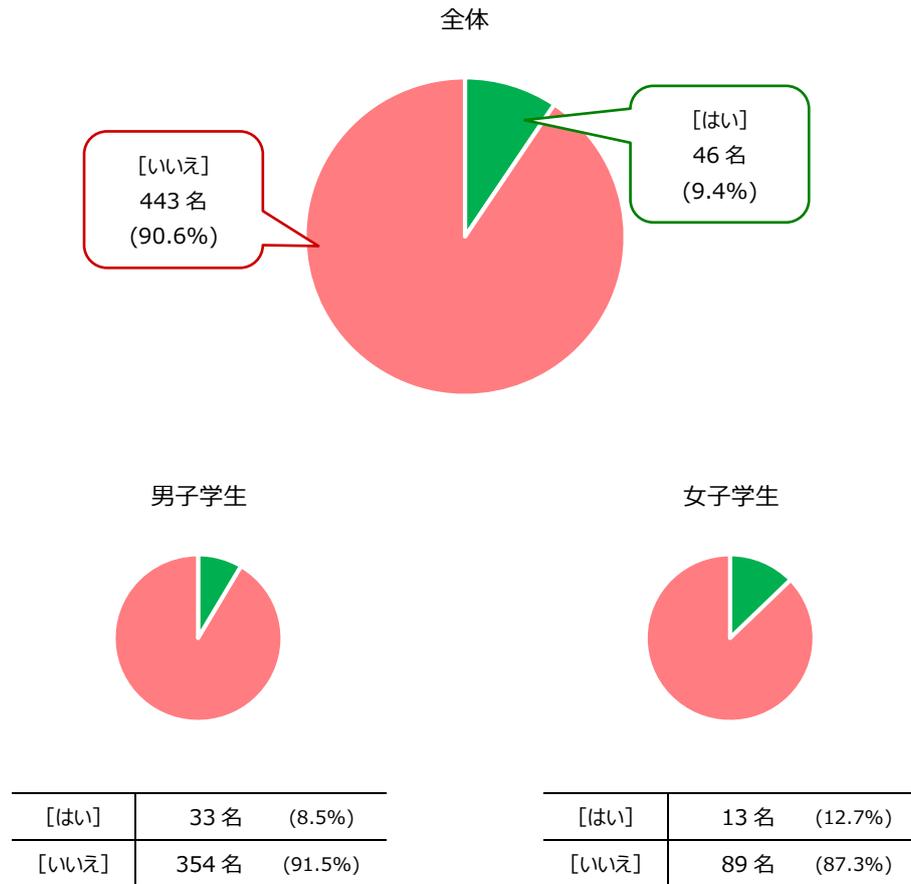
質問6) 教育に関して、女子学生が優遇されていると感じたことはありますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「はい」の回答が多かったです。
- 男子学生のほうが、やや「はい」が多かったです。
- 男子学生は、マイノリティである女子学生への対応が、えこひいきであると多少感じているかもしれません。
- 女子学生は、男子学生と同じ正当な評価をもらっているのか疑問に思うことがあるかもしれません。
- 男女の差別がない教育とマイノリティへの配慮のバランスをとった適切な指導ができるよう、啓発活動に取り組んでいきたいです。

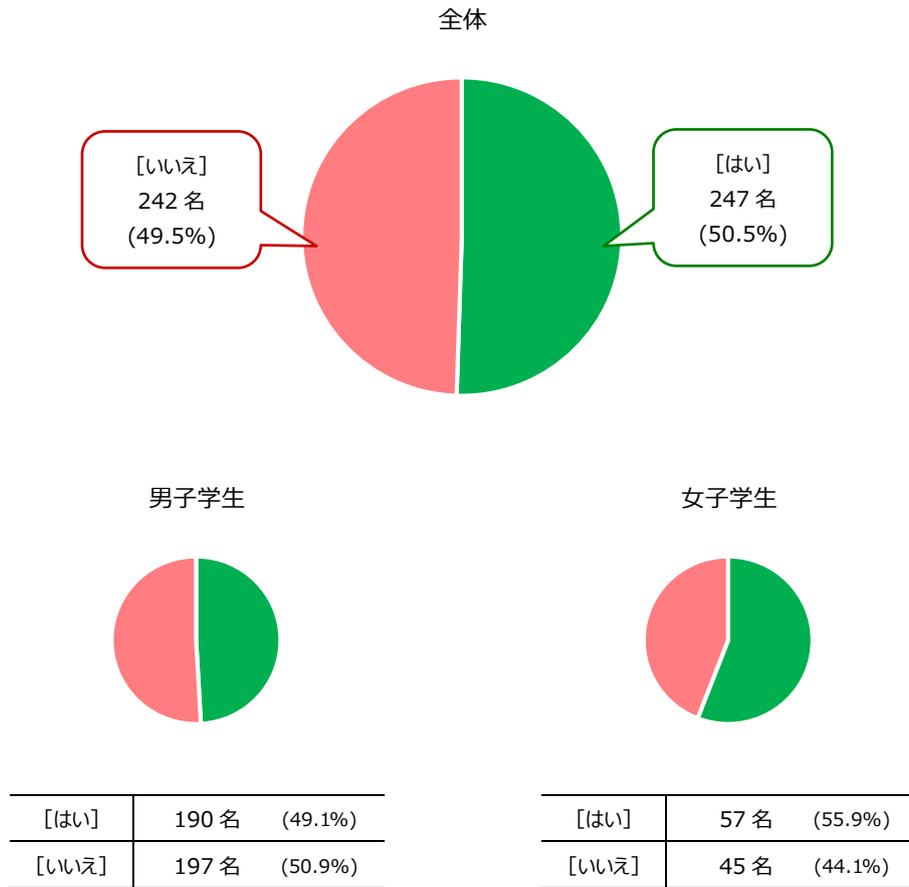
質問7) 教育に関して、女子学生が冷遇されていると感じたことはありますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- [いいえ] の回答が多かったです。
- 回答の割合に、男女に違いはあまりありませんでした。
- 女子学生の一部は、冷遇されていると感じているのかもしれない。

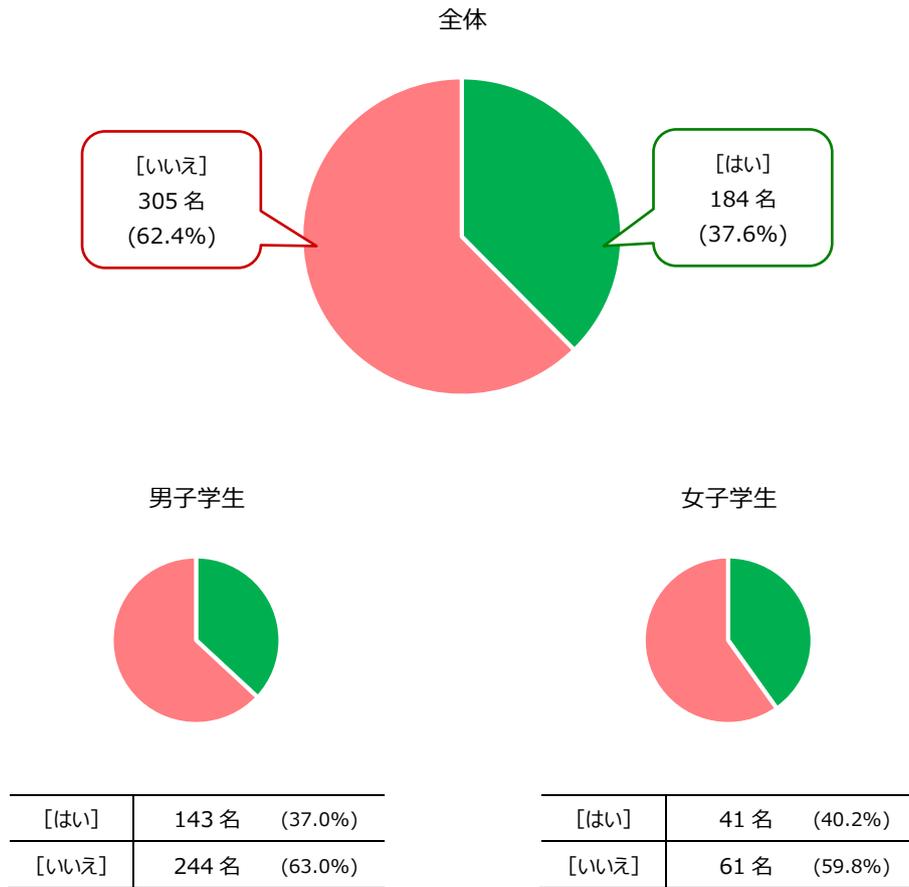
質問8) 本学における女性教員の比率について低いと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 全体的には、半々の意見でした。
- 女子学生は、女性教員が少ないと思っている学生がやや多いようです。

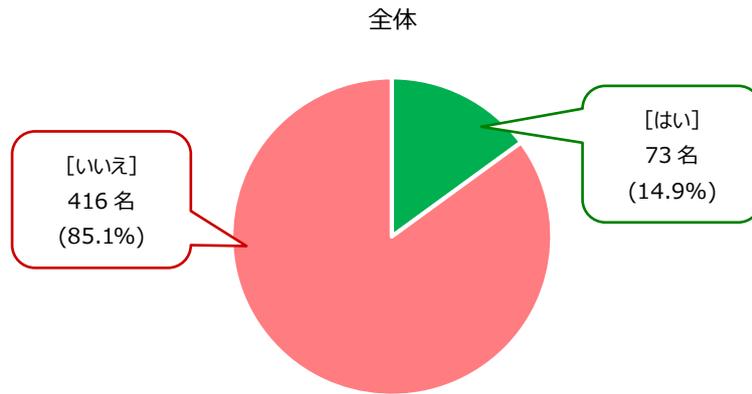
質問9) 女性教員の比率を高めるべきだと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「いいえ」の回答がやや多かったです。
- 回答の割合に、男女に違いはあまりありませんでした。

質問10) 女性教員が少ないためあるいは男性教員が多いため、学習・教育上の不都合が発生していますか。

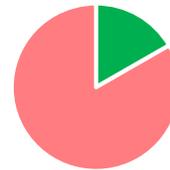


男子学生



[はい]	56名	(14.5%)
[いいえ]	331名	(85.5%)

女子学生

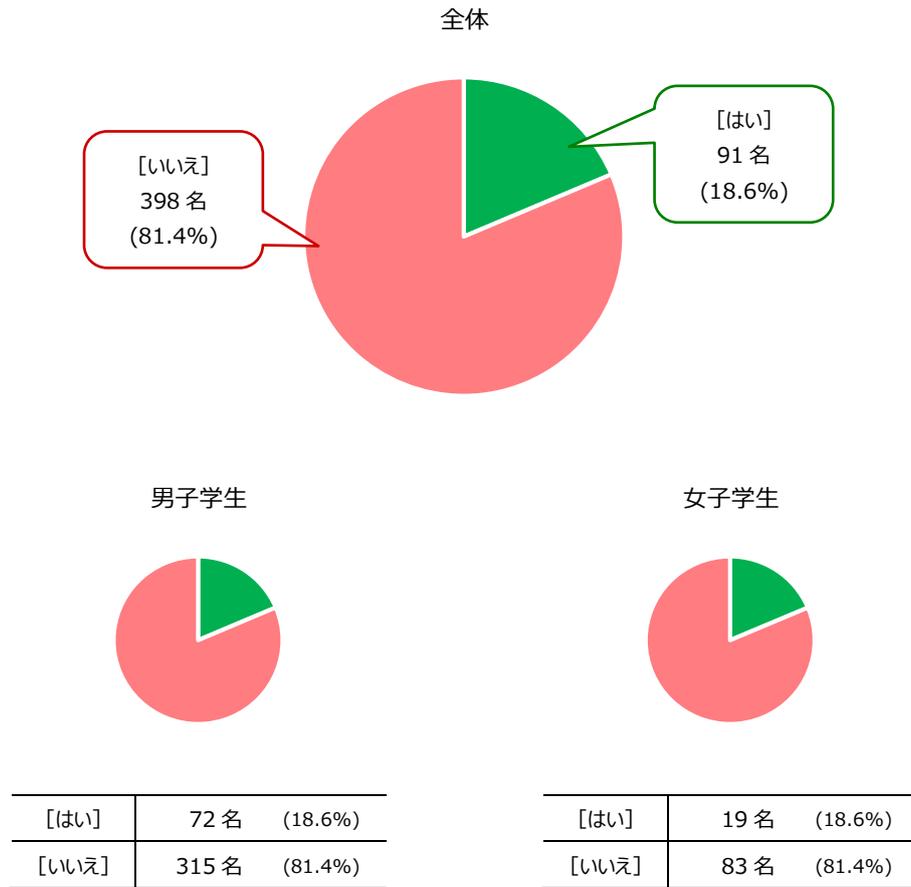


[はい]	17名	(16.7%)
[いいえ]	85名	(83.3%)

<男女共同参画推進室としてのコメント>

- [いいえ] の回答が多かったです。
- 回答の割合に、男女に違いはあまりありませんでした。

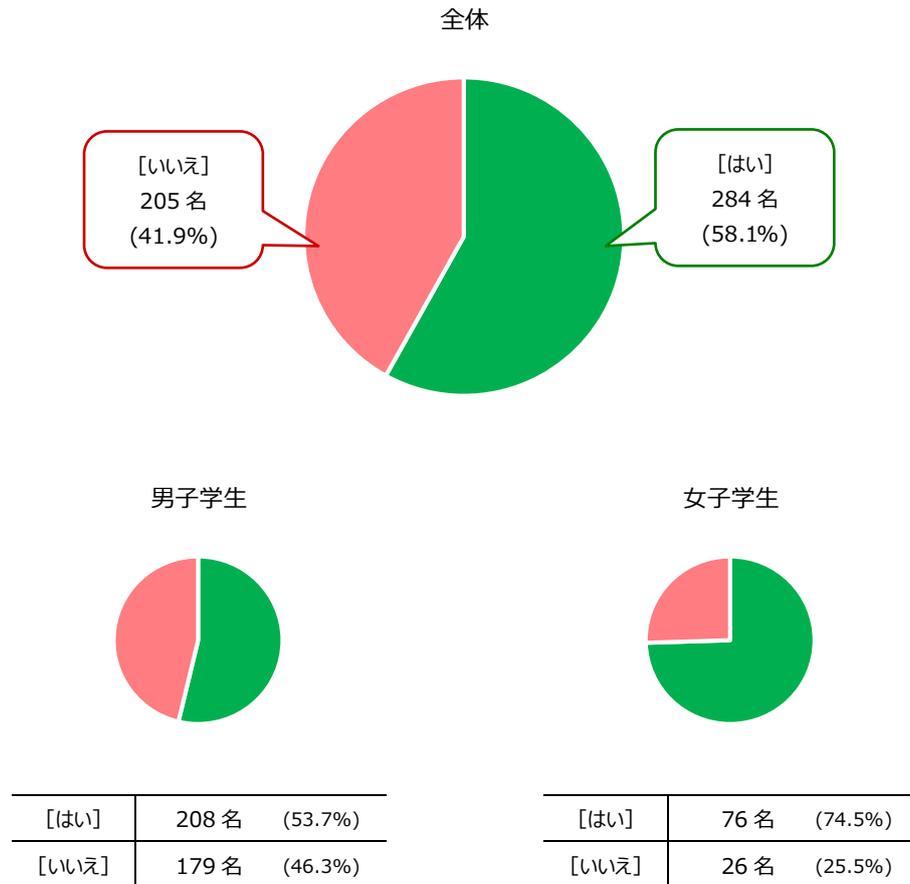
質問11) 施設や建物設備以外の生活環境について、男女が共に学ぶ場として困る点や改善すべき点はありませんか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- [いいえ] の回答が多かったです。
- 回答の割合に、男女に違いはありませんでした。
- 自由記述の回答には、女子トイレが少ない、男子更衣室があったほうが良いなどの意見がありました。

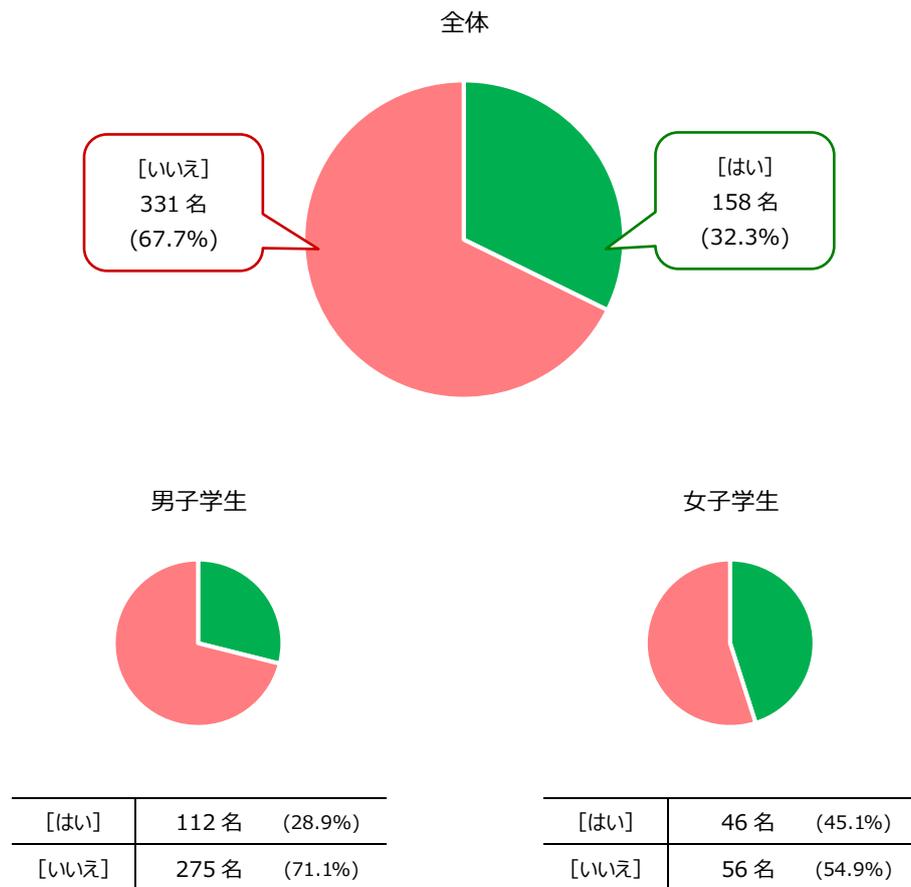
質問12) 就職の時、性別の違いが影響すると思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 男子学生は約半数が「はい」の回答でした。
- 女子学生は多くが「はい」の回答でした。
- 現在の日本の採用活動では、男女の差による有利／不利はあまりないと思いますが、昔から言われているまたは周りの人間が言っているから、よくわからずにそういうイメージを持ってしまっているのかもしれない。
- この質問では、男性（女性）だから有利（不利）なのかがかわからないので、さらなる調査が必要だと思います。

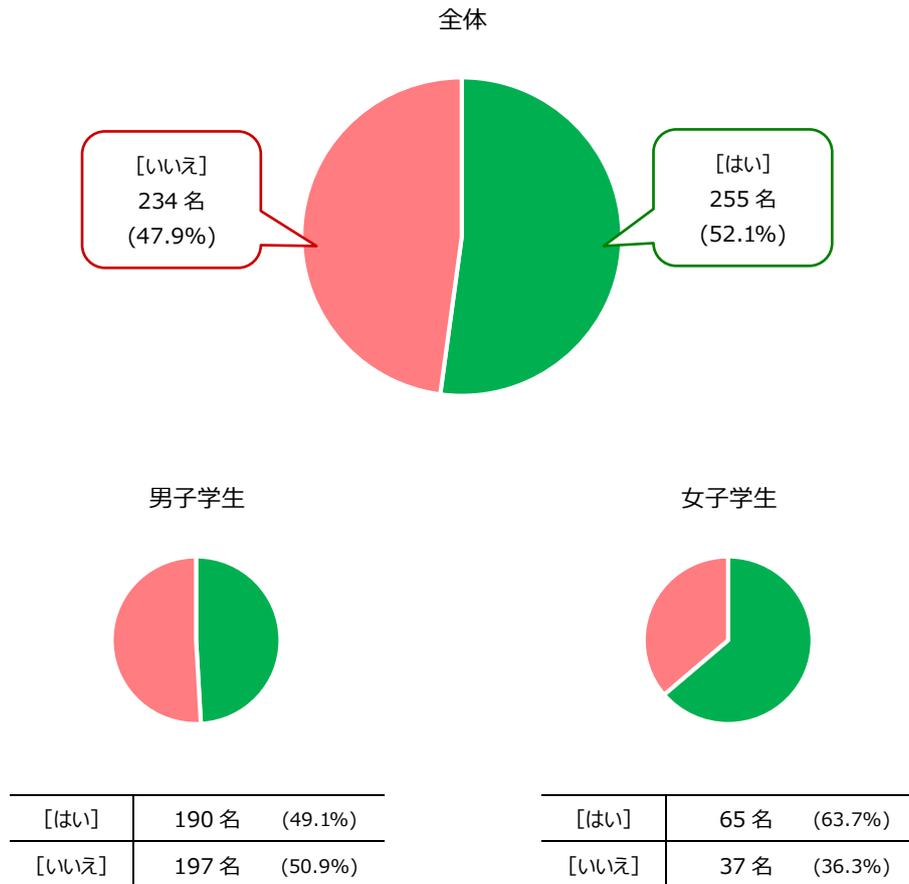
質問13) 研究職や専門職では、性別の違いが問題になると思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「いいえ」の回答がやや多かったです。
- 全体的に、企業で働く場合と比べて、研究職として働く場合は、男女の差はないというイメージを持っているようです。

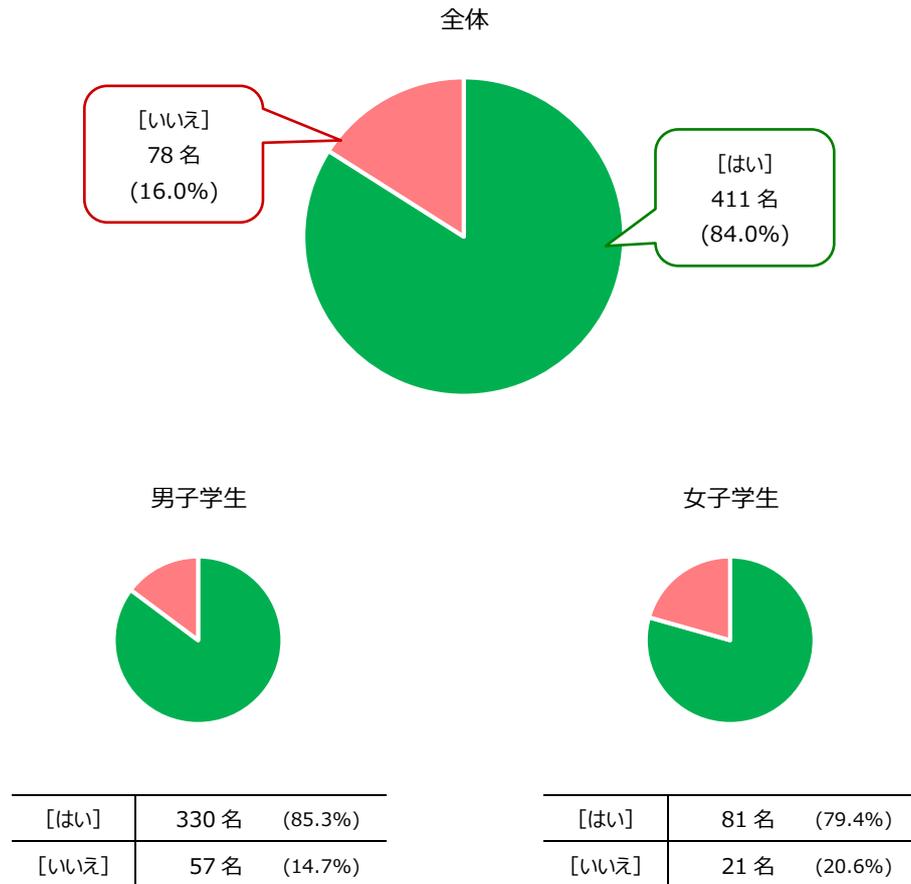
質問14) 結婚あるいは出産後も仕事を継続すべきだと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 男子学生は、約半数が【はい】の回答でした。
- 女子学生の【はい】の回答は男子学生よりも多い結果でした。
- このアンケートでは、仕事を続けたいかどうか分からないので、さらなる調査が必要だと思います。

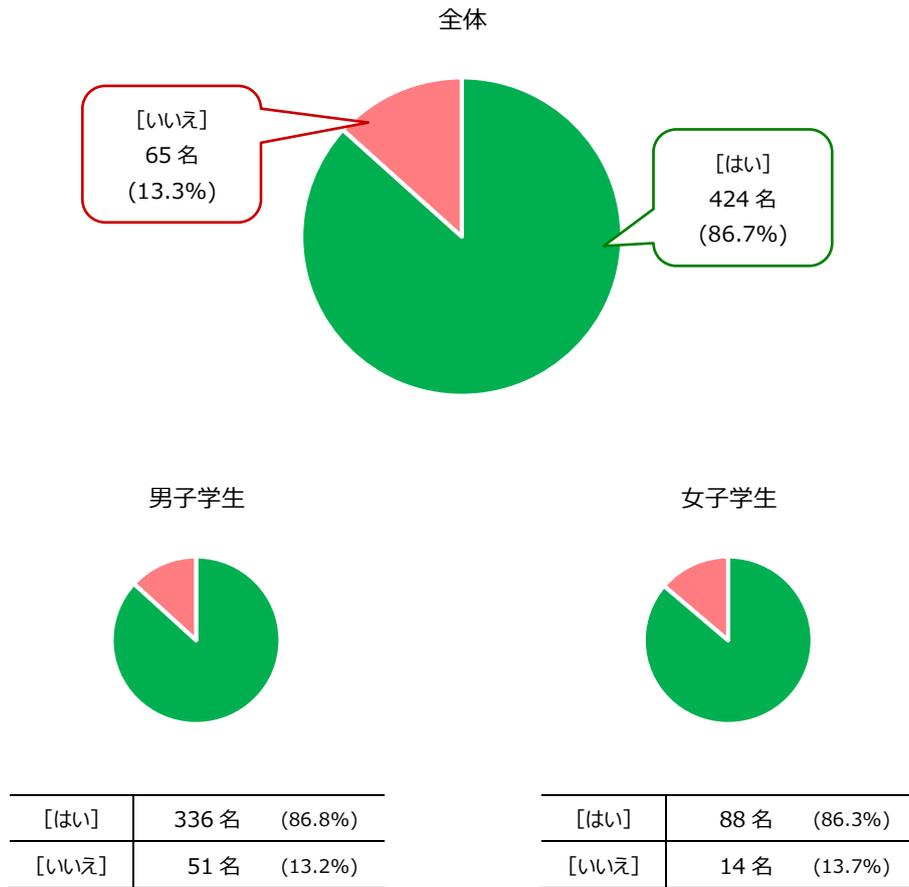
質問15) 家事の分担は、男女ができるだけ平等に協力すべきだと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「はい」の回答が多かったです。
- 学生の意識は高いと思いました。

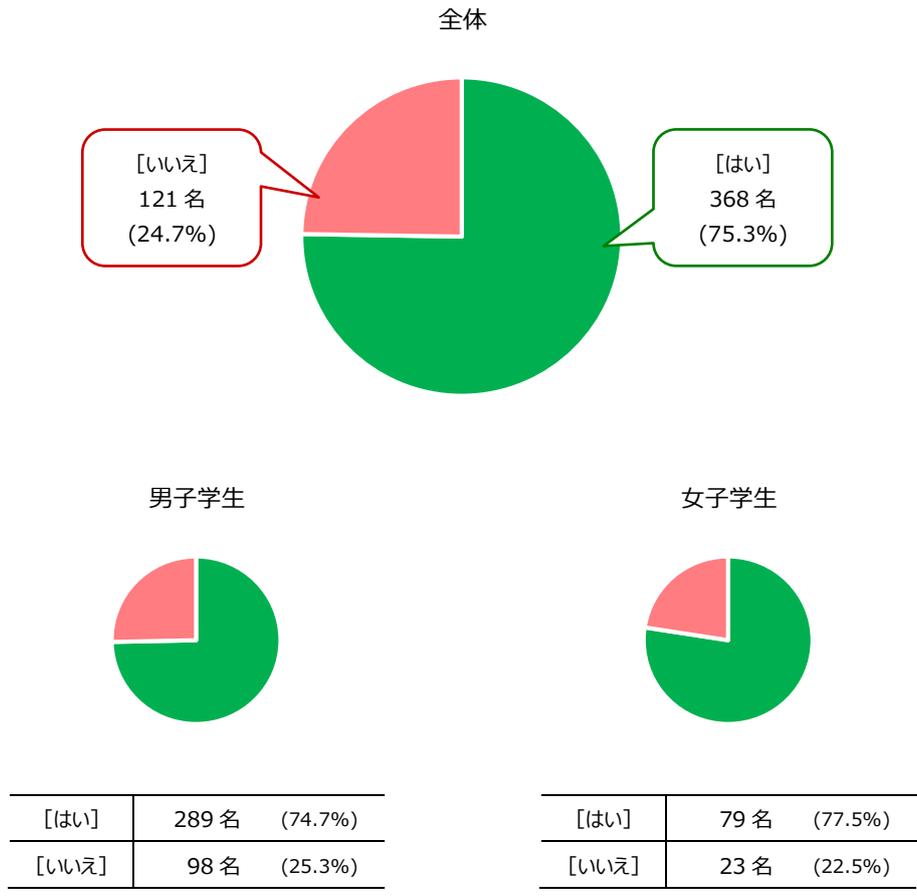
質問16) 育児の分担は、男女ができるだけ平等に協力すべきだと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 質問 15 と同じで， 「はい」 の回答が多かったです。

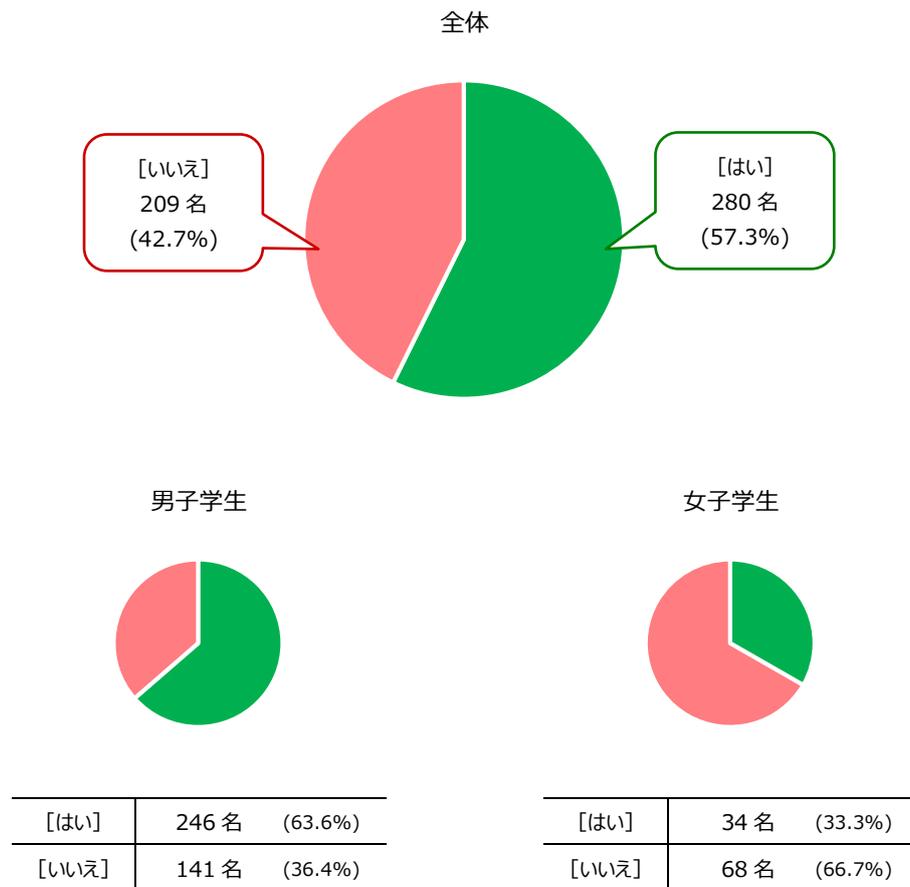
質問17) 将来, 育児休業制度を利用して育児を分担してほしいと思いますか.



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 「はい」の回答が多かったです.
- お互い協力したいと思っているのかもしれない.

質問18) 家族を経済的に養うのは男性の役割だと思いますか。



<男女共同参画推進室としてのコメント>

- 男子学生は「はい」の回答が多かったです。
- 女子学生は「いいえ」の回答が多かったです。
- 男子学生は、責任感が強いのかもかもしれません。
- 女子学生は、男性に頼ってばかりではダメだと思っているのかもかもしれません。

□ 全体的なまとめ

- 学年別の割合に大きな違いはありませんでしたので、ここでは載せませんでした。
- 学科別の分析は行ってないので、次回の課題だと思います。
- 「男女共同参画」という言葉を知らないだけで、多くの学生は意識が高いと思いました。